

2016年10月21日

「Engine Expo2016 USA」出展のお知らせ

『今後更に高まる低燃費・高性能ターボ車への提案』

当社は2016年10月25日～10月27日までの3日間、米国ミシガン州ノーバイで開催される「Engine Expo2016」に出展致します。

自動車向け展示会として世界最大規模となる本展示会には、2015年の米国、ドイツに続き、3回連続の出展となります。これまでの本展示会の中で当社のPIM工法の持つ、優位性を多くのお客様にご理解頂き、国内外のターボメーカー各社・自動車メーカー様から数多くのテーマを頂き、下表にある製品の商品化、開発を急ピッチに進めております。本展示会では、当社PIM工法により、格段に進化したターボ関連部品を数多く展示致します。

ターボ部品		材質・適合エンジン	当社PIM技術の優位性
ノズルベーン		耐熱ステンレス合金 (HK30) ディーゼルエンジン用 ～700℃	主流となっているロストワックス(精鑄品)や他社MIM品に対し、 <u>当社PIM工法による量産技術により低コスト・高品質を実現</u>
		ニッケル基超合金 (インコネル 713C) ガソリンエンジン用 ～1000℃	今後、急速に拡大が予測されるガソリンVG (Variable Geometry)化への対応 <u>当社PIM工法でインコネル 713Cでは世界初となる量産化技術を確立</u>
ウェイトゲートバルブ		HK30(ステンレス)からインコネル 713C へのシフトが加速(=高温化)	ロストワックス法で生じる、2次加工(※難削材)によるコストアップを <u>当社PIM工法によるニアネットシェイプ(仕上げ作業を極限まで削減)で解決</u>
タービン		チタンアルミ合金 次世代ターボエンジン用 1000℃以上	1000℃以上の耐熱強度、インコネル 713C の半分の重さとなるチタンアルミ合金を開発中、次世代ターボエンジンとして期待

【アテクト出展ブース】 ホールA 小間番号 E163

以上